

週 報

1999年9月26日 聖霊降臨節第19主日

巻 20 26号

1999年度 教会主題

「互いに仕え合う」

聖句 兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。

ガラテヤの信徒への手紙 5章13節

- 目 標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. キリストの体なる教会形成に参加する。
 3. 教会創立20周年記念に備える。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電 話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振 替 00290-4-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄

ていると語る。

両教授はこの現状を悲観せず、むしろ無信仰なアメリカを「新しい宣教地」として積極的に捉えている。それを「寄留する異星人・旅する神の民」と言っている。主イエスの福音に聞き従う神の民の共同体を形成し、福音を大胆に宣べ伝える。それは、他の文化の中に浮かぶコロニー（前線基地）である。他の人から見れば「異星人」に見えようとも、ここに留まり続ける。それが、教会の使命であると力説している。少数派である日本の教会とは異なる課題であるが、アメリカの教会の健全さと改革への意欲を感じる。

私は、いわゆるキリスト教的文化や価値観には「本当にそうなのか」と問い直す自由さが大切であると思っている。まず、聖書本文をしっかり読むことである。主イエスは、神のリアリティを言葉と業で現された。この終末的出来事を望みとして信じ従う。これが、天に故郷を置く「旅する神の民」としてのあり方であろう。

◇牧師室より◇

アメリカの S. ハワーワースと W. H. ウィリモン両教授が1989年に書いてベストセラーになった「Resident Aliens（駐在する異星人）」が「旅する神の民」と題して翻訳出版された。

アメリカは「キリスト教国」と言われているが、両教授は「コンスタンチヌス主義」に陥っていると主張する。紀元313年、ローマ皇帝コンスタンチヌスによって「ミラノの勅令」が出され、キリスト教は事実上国教化した。そこでは、キリスト教は政治と折り合い社会に迎合し、福音の固有性を喪失した。両教授は、アメリカの教会は人権、平和、正義を語るリベラルな教会も、道徳主義と成功主義を説く保守派の教会も「コンスタンチヌス主義」である。物質消費文化に身をすり寄せ、キリスト教用語で時代を追認する教会の実態を浮ぼりにし、広島・長崎への原爆投下さえ正当化する軍国・暴力主義を容認するに至っ